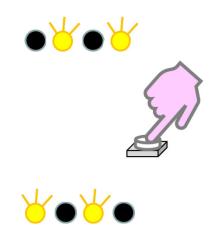
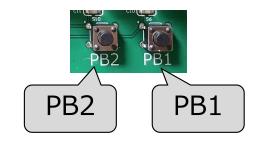
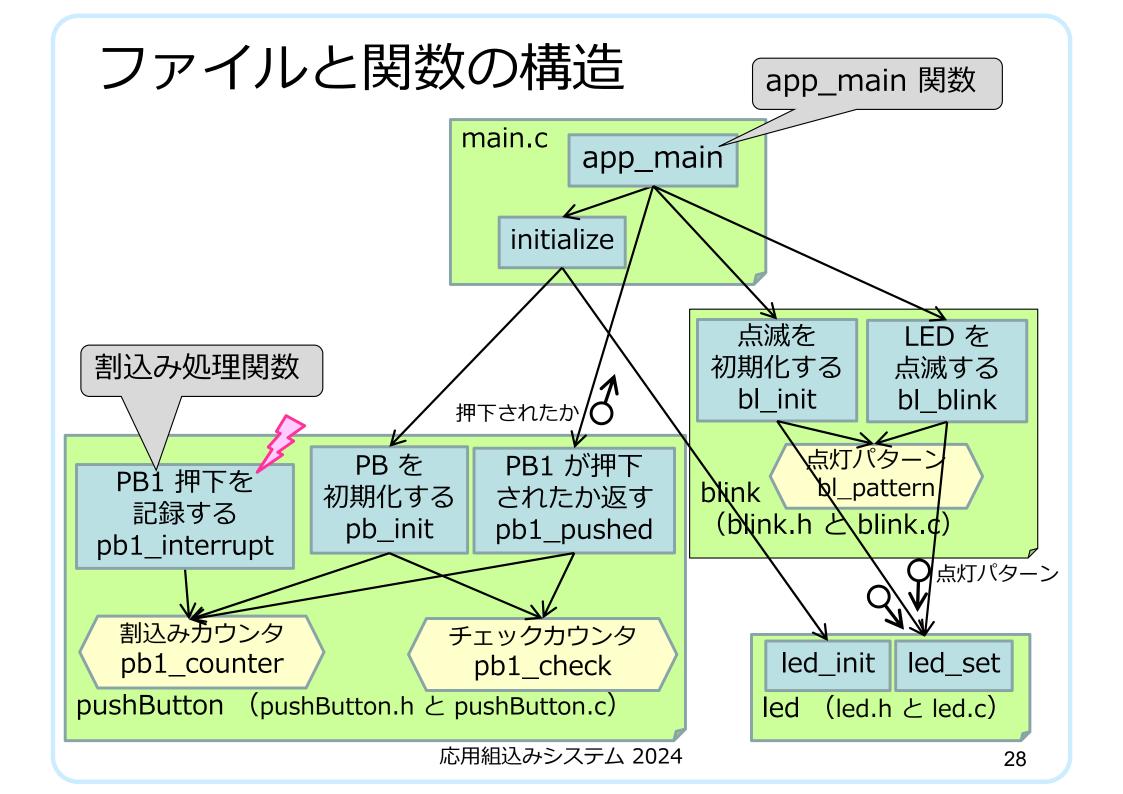
例題2割込み処理

■ PB1 が押下されたときに LED のパターンを反転する





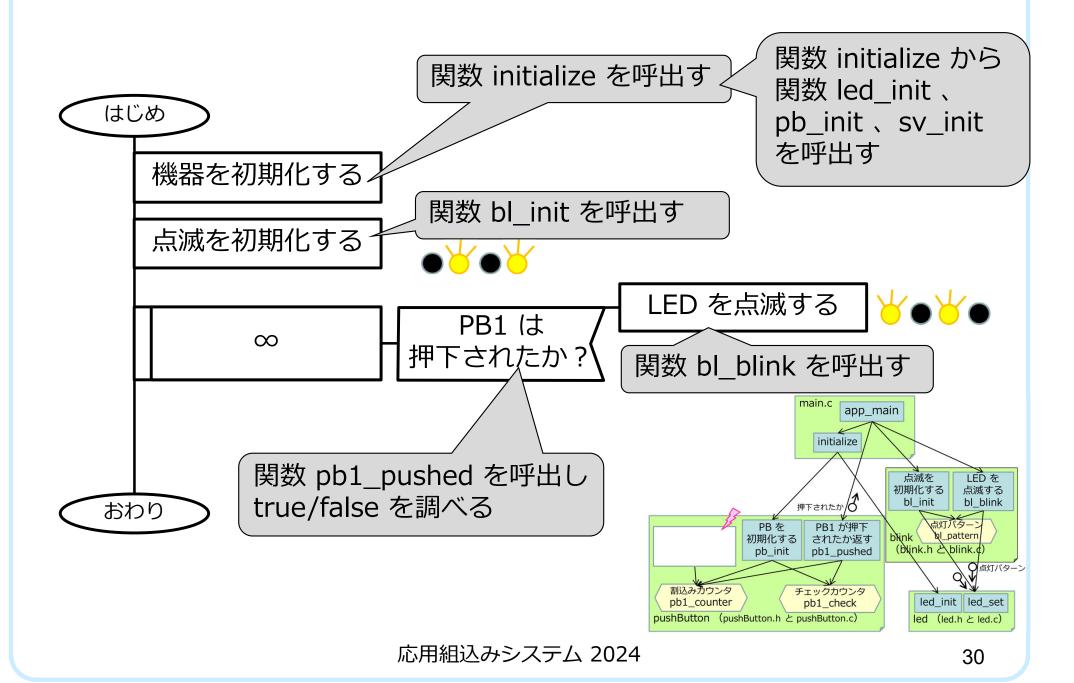


ファイルと関数の仕様

ファイル/責務	関数	機能	入力/引数	出力/返却値
main.c システム動作	app_main	動作させる	情報	なし
	initialize	初期化する	なし	なし
blink LED点滅	bl_init	点滅を 初期化する	なし	なし
	bl_blink	LED を 点滅する	なし	なし
led LED	led_init	LED を 初期化する	なし	なし
	led_set	LED を 点灯する	点灯 パターン	なし
pushButton プッシュボタン	pb_init	ブッシュボタン を初期化する	なし	なし
	pb1_pushed	PB1 が押下され たか返す	なし	true : 押下された false : 押下なし
	割込み処理関数 pb1_interrupt	PB1 押下を 記録する	情報 アイル stdboo	なし

ヘッタファイル stdbool.h を #include してbool 型の定数 true/false を使う

app_main 関数のアルゴリズム



ファイル main.c

■ ヘッダファイルの #include ファイル main.c 内で定義/使用する関数の プロトタイプ

```
// --- Header files (system)
#include <stdbool.h>
// --- Header files (project)
#include "led.h"
#include "sevenSegmentLed.h"
#include "pushButton.h"
#include "blink.h"

// --- prototypes (static)
static void initialize(void);
```

定義/使用される関数の

プロトタイプ

true/false を使用するため

ファイル pushButton.c で 定義されている関数 pb_init と pb1_pushed の プロトタイプ

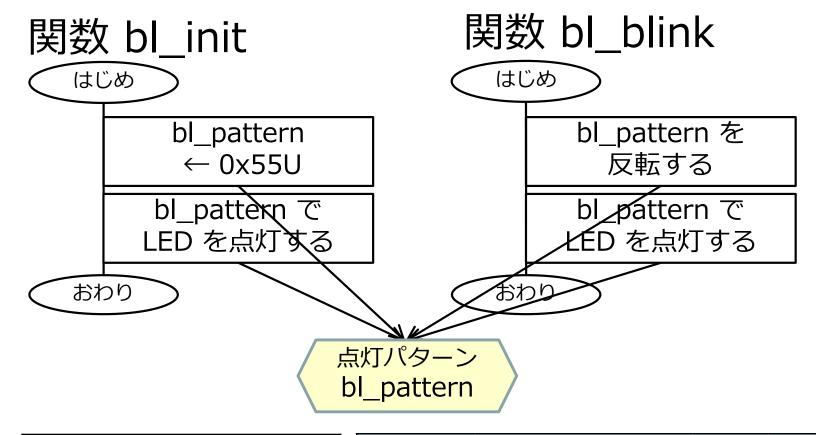
ファイル blink.c で 定義されている関数 bl_init と bl_blink の プロトタイプ

ファイル main.c の関数

```
void app_main(void)
                     装置を初期化する
   initialize();
                     点滅を初期化する
  bl_init();
                                 PB1 は押下されたか?
   for (;;) { // closed loop
      if ( pb1_pushed() != false )
        bl_blink();
             LED を点滅する
static void initialize (void)
                  LED を初期化する
   led_init();
   sv_init();
   pb_init();
                  プッシュボタンを
   return;
                  初期化する
```

ファイル blink

■ 関数のアルゴリズム



変数	意味		
bl_pattern	点灯パターン		

関数	機能	引数	返却値
bl_init	点滅を初期化する	なし	なし
bl_blink	LED を点滅する	なし	なし

ヘッダファイル blink.h

```
// --- prototypes (extern)
extern void bl_init(void);
extern void bl_blink(void);
```

ファイル blink.c で定義され 他のファイルで使用される関数 (他のファイルの関数から呼出される関数) bl_init と bl_blink のプロトタイプ

ファイル blink.c

■ ヘッダファイルの #include

```
// --- Header files (project)
#include "led.h"

// --- Header of own file #include "blink.h"

ファイル blink.c で使用する関数のプロトタイプ
ファイル blink.c で定義する関数のプロトタイプ
```

■ ファイル blink.c 内で使用するマクロ

```
// --- macros
#define BL_INIT 0x05U
#define LOWER_4BIT 0x0FU
```

■ ファイル blink.c 内で使用するデータ

関数 bl_init と bl_blink の定義

■ 関数 bl_init

■ 関数 bl_blink

```
void bl_init(void)
{
bl_pattern = BL_INIT;
led_set(bl_pattern);
return;
}

点灯パターン
bl_pattern

点灯パターン
bl_pattern
```

割込み発生の記録とその調査

app_main ■ 関数 pb1_interrupt ■ 関数 pb1_pushed 記録 調査 pb1_pushed はじめ pb1_interrupt はじめ pushed ← false pushed ← true pb1_counter を pb1_counter と 1 増やす pb1_check は pb1_check を 異なる? 1 増やす おわり 記録 調査 、 -púśhed を返す 調査済み おわり PB1 が押下 PB を PB1 押下を 初期化する されたか返す 記録する チェックカウンタ pb init pb1 pushed 割込みカウンタ pb1 interrupt pb1_counter pb1_check 割込みカウンタ チェックカウンタ pb1_counter pb1 check pushButton (pushButton.h & pushButton.c)

応用組込みシステム 2024

37

ヘッダファイル bushButton.h

```
// --- prototypes (extern)
extern void pb_init(void);
extern bool pb1_pushed(void);
extern bool pb2_pushed(void);
```

ファイル pushButton.c で定義され 他のファイルで使用される関数 (他のファイルの関数から呼出される関数) のプロトタイプ

ファイル bushButton.c

■ ヘッダファイルの #include

- マクロの定義
- ■データの定義

割込み発生を記録する変数

割込み発生を調査する変数

■プロトタイプ

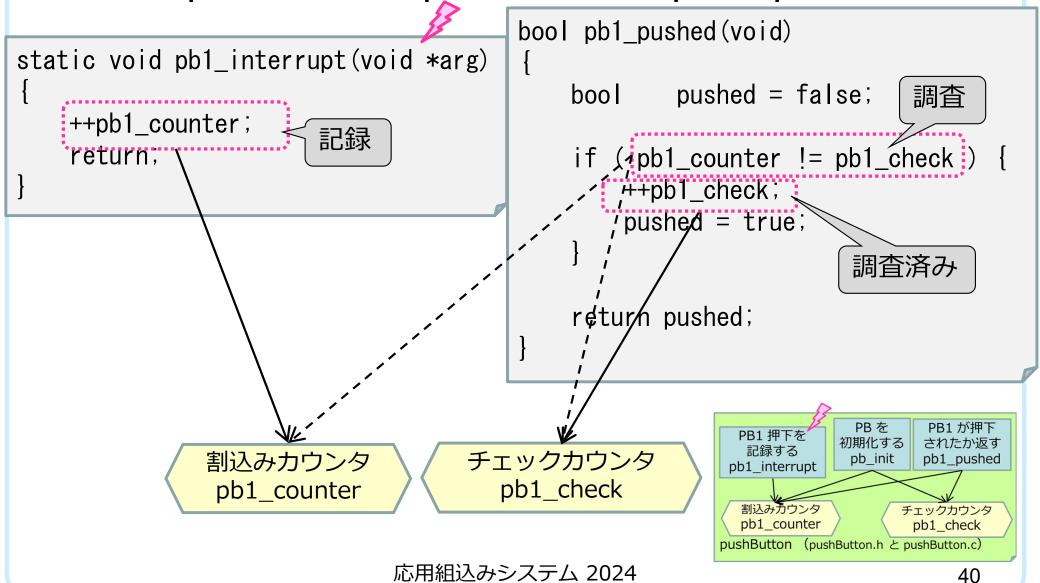
割込み処理関数

```
// --- Header files (system)
#include <stdbool.h>
#include "driver/gpio.h"
#include "hal/gpio_types.h"
// --- Header of own file
#include "pushButton.h"
// --- macros
#define PB1 GPI0 NUM 36
#define PB2 GPIO_NUM_39
// --- data (static)
// counter that counts interrupt occurrence
static volatile unsigned char
                               pb1 counter;
static volatile unsigned char
                                pb2_counter;
// counter that counts checked interrupts
static unsigned char
                                pb1_check;
static unsigned char
                                pb2_check;
// --- prototypes (static)
static void pb1_interrupt(void *arg);
static void pb2_interrupt(void *arg);
```

記録とその調査のプログラム

■ 関数 pb1_interrupt

■ 関数 pb1_pushed



補足:ふたつのカウンタの変化

タイミング	関数	割込みカウンタ pb1_counter	チェックカウンタ pb1_check
初期化時	pb_init	0	0
:		0	0
pb1_pushed 呼出し前	app_main	0	0
pb1_pushed return 時	pb1_pushed	0	0
:	返却値 fals	e 0	0
PB1 押下	pb1_interrupt	1	0
pb1_pushed 呼出し前	app_main	1	0
pb1_pushed return 時	pb1_pushed	1	1
:	返却值 true	1	1
PB1 押下	pb1_interrupt	2	1
pb1_pushed 呼出し前	app_main	2	1
pb1_pushed return 時	pb1_pushed	2	2
;	返却値 tru	le)	

応用組込みシステム 2024

参考:割込み処理関数の登録

- プッシュボタンの初期化関数 pb_init
 - > プッシュボタン PB2 の記述省略

```
void pb_init(void)
   esp_rom_gpio_pad_select_gpio(PB1);
    ESP ERROR CHECK(gpio set direction(PB1, GPIO MODE INPUT));
    ESP_ERROR_CHECK(gpio_pullup_dis(PB1));
   ESP_ERROR_CHECK(gpio_pulldown_en(PB1));
    ESP_ERROR_CHECK(gpio_set_intr_type(PB1, GPIO_INTR_POSEDGE));
   // initialize interrupt
    ESP ERROR CHECK(gpio install isr service(0));
    ESP_ERROR_CHECK(gpio_isr_handler_add(PB1, pb1_interrupt, NULL));
    pb1 counter = 0U;
    pb1_check = pb1_counter;
                                         割込み処理関数を登録
    return;
```